

令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	③	学校名	奈良養護学校
----	---	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「社会参加学習」での地域作り実習
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	「総合的な学習（探究）の時間」及び「自立活動」に位置づけ、一人ひとりがよりよく生きていけるために豊かな社会性を育み、自らの特性を生かした生活を設計するための力を養う。
連携・協働相手	ヘルマンハーブの会
地域と共有している目標・課題等	地域社会でともに生きるという観点にたち、交流の機会を持つ。本校の生徒については、コミュニケーションの力、集団活動に主体的に参加する力を養うことを目標や課題とする。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>ヘルマンハーブの会（音楽演奏団体）を奈良養護学校へ招き、演奏会及び交流活動を行った。【11月16日（火）、18日（木）、19日（金）】新型コロナウイルス感染症予防として日時を複数回に分け、小集団によるグループで実施した。どの演奏会も生徒たちのなじみのある曲を中心に演奏をしていただいた。</p> <p>事前の取組として、本校の生徒たちの実態や学校の様子、演奏していただきたい曲をヘルマンハーブさんに伝えることにより、本校の啓発をはかることができ、連携にもつながった。演奏会当日は、生徒たちもヘルマンハーブに触れさせていただいたり、鈴などの楽器を演奏に合わせて鳴らしたりすることにより、協働した取組となった。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>ヘルマンハーブさんが、本校の「音楽」で取り組んでいる歌など、生徒になじみのある歌を曲目に入れていただいたことで、生徒たちは、興味深く鑑賞をすることができた。演奏の途中で、生徒たちはヘルマンハーブに触れさせていただき、実際に音を出せたことを喜ぶ生徒たちも多かった。来年度以降も、関係を大切にしながら、演奏会実施の方向で検討していきたい。今年度も、新型コロナウイルス感染症対策として、残念ながら演奏者の人数を少なくして実施した。来年度以降は、感染症流行の状況を見極めながら、個々の生徒たちが演奏者の方との交流の機会をさらにもてるように、演奏者の人数を元の通りに増やしていただくことを依頼するなどの検討をしていきたい。</p>

